

Q1 神学研修志望とは何ですか？
A 信徒として広く教会に仕えるという目的で、神学部神学科の正科生となる制度です。牧師や聖書科教員を目指す「伝道献身志望」の学生と同じカリキュラムで神学を学ぶことができます。

Q2 出願の条件はありますか？
A 洗礼を受けてから原則として1年以上教会生活を送っていて、所属教会の推薦を得られることが出願条件のひとつです。詳細は「学生募集要項」をご確認ください。 ※受洗1年に満たない場合は、ご相談ください。

Q3 入学者選抜に違いはありますか？
A 入学者選抜に、伝道献身志望との区別はありません。ただし、出願時に「神学研修志望」であることを表明していただきます。

Q4 入学者選抜はいつ行われますか？
A 一般選抜は2月、3月に、また編入学者選抜は11月、2月、3月に行われます。出願や入学者選抜についての詳細は「学生募集要項」をご確認ください。

Q5 神学研修志望に定員はありますか？
A 入学定員・編入学定員は神学部神学科として設けているため、志望ごとの募集定員はありません。神学研修志望者は若干名を受け入れます。

Q6 単位の修得はどのようなのですか？
A 伝道献身志望と同様の科目を履修します。学部卒業に必要な単位をすべて修得すれば、「学士(神学)」の学位が授与されます。学びの内容や課題(テストやレポート等)については、伝道献身志望と何の区別もありません。

Q7 教職課程を履修できますか？
A 教職課程を履修するためには、伝道献身志望であることが基本です。現在、キリスト教学校の聖書科教師は、多くの場合、牧師であることが求められているからです。

Q8 伝道献身志望への変更はできますか？
A できます。変更を希望する場合には、学部3年次終了時までに出願して、所定の手続きを行う必要があります。

Q9 大学院へ進むことはできますか？
A 神学研修志望のまま本学の大学院へ進むことはできません。ただし、Q8の手続きを経て伝道献身志望に変更した場合は、内部入試に出願することができます。また、学部4年次在籍中に伝道献身を志し、大学院への進学を希望することになった場合は、大学院の一般入試(一般の志願者と同じ選抜)への出願が可能です。

Q10 学生寮には入れますか？
A 入寮できます。ただし、空室状況によってはご希望に沿えない場合があります。なお、学生寮は単身者用で、家族寮はありません。

Q11 学生納付金はどうなりますか？ 奨学金制度はありますか？
A 伝道献身志望と神学研修志望に学生納付金の違いはありません。なお、本学には奨学金制度があり、神学研修志望者は、貸与奨学金の「入学時奨学金」と「一般奨学金」、給付奨学金の「指定奨学金」に申請することができます。

Q12 どのような教会生活を送ればよいでしょうか？
A 出願の際、所属教会牧師に「誠実に教会生活を送っていること」を推薦書で明らかにしてもらいます。入学後は出席教会の牧師の指導を受け、求められた奉仕をします。

Q13 夏期伝道実習はどうなりますか？
A 学部4年次の夏に出席教会等で何らかの奉仕をし、報告書を提出することになります。

Q14 卒業後の進路として、どのようなものが考えられますか？
A 卒業後は、教会の伝道を真摯に支えることが期待されます。また、神学を学んだ者として、幼児教育や社会福祉の分野などで指導力を発揮して働く道もあります。

Q15 神学校での学びや生活について、理解を深められるイベントはありますか？
A 毎年、7月に「入試説明会」を、また12月に「オープンキャンパス」を実施しています。詳細や参加のお申し込みはホームページ等でご案内します。

資料請求・お問い合わせ

学生募集要項や願書等の資料をご入用の方は、入試係までご連絡ください。
 ホームページの「資料請求」フォームからも請求していただけます。
 ※個別の受験相談は随時お受けします。

東京神学大学 教務課入試係

〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-10-30
 TEL:0422-32-4185 FAX:0422-33-0667
 MAIL:tuts@tuts.ac.jp URL:https://www.tuts.ac.jp/



2022年7月



神学事始

神学研修コースでの学びを通して

しながくことはじめ



東京神学大学は、伝道者・牧師の養成を第一の使命とし、
 そのための神学の研究と教育に励んでいます。
 さらに、近年の教会の実情と必要に応じて、
 「信徒として教会によく仕え、また社会に貢献したい」という志をもつ人も、
 「神学研修志望」として、神学部神学科に迎えています。
 その中から将来、伝道を志す献身者が与えられることも願っています。
 ぜひ「神学研修志望」の概要をご一読ください。
 そして所属教会の牧師に相談し、出願をご検討ください。
 与えられた賜物が活かされることでしょう。

